

日本遺伝学会第 97 回大会総会

日時 2025 年 9 月 12 日（金） 13 時 45 分～14 時 20 分

場所 神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホール

総 会 次 第

1 大会委員長挨拶	委員長	菅澤 薫
2 日本遺伝学会会長挨拶	会長	角谷 徹仁
3 報告事項	会長	角谷 徹仁
a) 学会賞選考委員会報告	委員長	角谷 徹仁
4 議事		
a) 2024 年度決算、2026 年度予算案	会長	角谷 徹仁
b) 会計監査	会計監査	藤戸 尚子
c) 第 99 回大会について	会長	角谷 徹仁
d) その他		
5 YBP 賞・Best Papers 賞受賞者発表		大学 保一・沖 昌也
6 次期（第 98 回）大会委員長挨拶	第 98 回大会委員長	岩崎 博史
日本遺伝学会木原賞・奨励賞授与式	会長	角谷 徹仁

1) 会員数（2025 年 8 月 1 日現在）

普 通 会 員	783 名 (内学生会員 351 名)
シニア永年会員	69 名
シニア普通会員	9 名
教 育 会 員	4 名
機 関 会 員	1 件
賛 助 会 員	3 件
休 会 員	26 名
名 誉 会 員	国内 7 名 外国 5 名
計	907 名

2) 2025 年度役員名簿

会長	角谷 徹仁			
評議委員				
全国区	石井 浩二郎	岩崎 博史	太田 邦史	岡田 由紀
	長田 直樹	鐘巻 将人	工樂 樹洋	黒岩 麻里
	高橋 文	野澤 昌文		
北海道地区	金澤 章	橋本 理尋		

東北地区	澁田 未央	鳥羽 大陽
関東地区	五條堀 淳	中戸川 仁
東京地区	栗崎 健	藤本 明洋
中部地区	木村 暁	齋藤 都暁
関西地区	高野 敏行	深川 竜郎
中国・四国地区	阿保 達彦	茶谷 悠平
九州地区	片山 勉	高橋 達郎

幹事

国内庶務幹事	颯田 葉子	野々村 賢一	平田 たつみ	
渉外庶務幹事	新屋 みのり	菱田 卓		
会計幹事	北野 潤			
編集幹事	澤村 京一	柵屋 啓志		
企画・集会幹事	沖 昌也	Jeffrey Fawcett		
将来計画幹事	荒木 喜美 村山 泰斗	佐々木 真理子	佐瀬 英俊	杉本 道彦
男女共同参画推進担 当	一柳 健司 古郡 麻子	大野 みずき 安田 武嗣	藤 泰子 愿山 郁	福田 溪
広報担当、ホームペ ージ編集	遠藤 俊徳	宮城島 進也		
遺伝学普及・教育担 当	鶴木 元香	大学 保一		
シニア活性化	仁木 宏典	真木 寿治	村井 耕二	
国際連携幹事	相澤 康則 二階堂 雅人	入江 直樹	加納 純子	鈴木 崇之
会計監査	小出 剛	藤戸 尚子		
第 97 回大会委員長	菅澤 薫			

学会賞選考委員会（2025）

委員長	角谷 徹仁			
委員	朝井 計	岩崎 博史	岡田 由紀	五條堀 孝
	篠原 美紀	高橋 文	那須田 周平	深川 竜郎

研究助成金等推薦調査委員会（2025）

委員長	角谷 徹仁			
委員	岩崎 博史	岡田 由紀	長田 直樹	鐘巻 将人
	黒岩 麻里	高橋 文	野澤 昌文	深川 竜郎

3) 2024 年度収支報告 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)

(単位円)

A 収入	摘要	決算
	1. 学会費	4,148,102
	2. 賛助会費	20,000
	3. 科学研究費補助金	5,100,000
	国際情報発信強化 B	3,900,000
	公開市民講座	1,200,000
	4. 事業収入	2,388,199
	掲載料	2,381,000
	利息	7,199
	5. 雑収入	218,544
	6. 96 回大会補助金返金	960,759
	小計	12,835,604
	7. 繰り越し金	20,842,352
	総計	33,677,956

B 支出	摘要	決算
	1. 事業費	5,235,099
	雑誌製作費	1,494,577
	大会補助費	1,000,000
	公開市民講座	1,200,000
	学術集会事業費	478,074
	大会学生旅費補助	751,900
	協力委員会分担金	80,495
	若手の会補助費	230,053
	2. 評議委員会／幹事会費／委員会費	357,520
	3 事務費	3,980,598
	雑誌発送費	107,224
	編集経費	2,645,575
	事務局経費	1,227,799
	4. 学会賞関係費	405,409
	5. 謝金	1,248,645
	6. 特別事業費	344,281
	国際シンポジウム	0
	その他(学生交換事業等)	344,281
	小計	11,571,552
	次期繰越金	22,106,404
	総計	33,677,956

4) 2026 年度予算案

(単位円)

A 収入	摘要	予算
	1. 学会費	4,210,000
	2. 賛助会費	140,000
	3. 科学研究費補助金	3,900,000
	国際情報発信強化 B	3,900,000
	4. 事業収入	2,498,000
	掲載料	2,490,000
	利息	8,000
	5. 雑収入	130,000
	小計	10,878,000

B 支出	摘要	予算
	1. 事業費	3,780,000
	雑誌製作費	1,500,000
	大会補助費	1,000,000
	学術集会事業費	300,000
	大会学生旅費補助	600,000
	協力委員会分担金	80,000
	若手の会補助費	300,000
	2. 評議委員会／幹事会費／委員会費	350,000
	3. 事務費	3,840,000
	雑誌発送費	80,000
	編集経費	2,800,000
	事務局経費	960,000
	4. 学会賞関係費	400,000
	5. 謝金	1,300,000
	6. 特別事業費	1,208,000
	国際シンポジウム	1,000,000
	その他(学生交換事業等)	208,000
	小計	10,878,000

5) 【日本遺伝学会木原賞】

斎藤 成也（国立遺伝学研究所 名誉教授）

「分子系統解析法とゲノム進化学への先駆的貢献」

「Pioneering Contributions to Molecular Phylogenetics and Genome Evolution」

【日本遺伝学会奨励賞】

北尾 晃一（名古屋大学大学院生命農学研究科 研究員（学振 PD））

「転移因子に由来する遺伝子の多様性と進化の研究」

「Studies on diversity and evolution of transposable element-derived genes」

大畑 樹也（浜松医科大学 分子生物学講座 学内講師）

「X 染色体不活性化を担う *Xist* 遺伝子座のアンチセンス制御」

「Antisense regulation at the *Xist* locus underlying X-chromosome inactivation」

6) 協力委員会

同位元素協会委員 岩崎 博史

自然史学会連合委員 新屋 みのり

生物科学学会連合委員 菱田 卓

7) 学会推薦学術賞・研究助成の年間スケジュール

件名	助成団体	締切
藤原賞	(財) 藤原科学財団	2025 年 12 月 15 日
猿橋賞	女性科学者に明るい未来をの会	2025 年 11 月 30 日頃
東レ科学技術賞・研究助成	(財) 東レ科学振興会	2025 年 10 月 10 日
沖縄研究奨励賞	(財) 沖縄協会	2025 年 9 月 30 日
内藤記念科学振興賞	内藤記念科学振興財団	2025 年 9 月 30 日
内藤記念国際会議開催助成金	内藤記念科学振興財団	前期 2025 年 5 月 30 日 後期 2025 年 9 月 30 日
内藤記念科学奨励金・研究助成	内藤記念科学振興財団	2025 年 5 月 30 日
木原記念財団学術賞	(財) 木原記念横浜生命科学振興財団	2025 年 9 月 30 日
井上学術賞	井上科学財団	2025 年 9 月 18 日
井上研究奨励賞	井上科学財団	2025 年 9 月 18 日
井上リサーチアワード	井上科学財団	2025 年 7 月 31 日
朝日賞	朝日新聞社	2025 年 8 月 26 日
基礎科学研究助成	(財) 住友財団	2025 年 6 月 30 日
環境研究助成	(財) 住友財団	2025 年 6 月 30 日
持田記念学術賞	(財) 持田記念医学薬学振興財団	2025 年 4 月 17 日
研究助成金	(財) 持田記念医学薬学振興財団	2025 年 4 月 12 日
留学補助金	(財) 持田記念医学薬学振興財団	2025 年 5 月 14 日
山崎貞一賞	材料科学技術振興財団	2025 年 4 月 16 日

(注) 学会の推薦を必要とする場合は学会内で選考のため財団の提出締切りより、通常は 1 ヶ月早く締切る。尚、各助成金の詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

8) 開催地一覧

回	年	月 日	会 場
1	1928(昭 3)	10 月 19 日	九州帝国大学農学部
2	1929(昭 4)	7 月 26 日	北海道帝国大学農学部
3	1930(昭 5)	10 月 31 日	東京農事試験場
4	1931(昭 6)	10 月 31 日	京都帝国大学・楽友会館
5	1932(昭 7)	10 月 14 日	名古屋医科大学
6	1933(昭 8)	10 月 26 日	広島文理科大学動物学教室
7	1934(昭 9)	12 月 21 日	台北帝国大学生物学教室
8	1935(昭 10)	10 月 21 日	金沢医科大学法医学教室
9	1936(昭 11)	10 月 16 日	岡山医科大学 生理学教室
10	1937(昭 12)	7 月 31 日	北海道帝国大学理学部
11	1938(昭 13)	10 月 13～15 日	九州帝国大学農学部・医学部・九州小麦試験地
12	1939(昭 14)	10 月 14～15 日	科学博物館(東京)
13	1940(昭 15)	8 月 27～28 日	京城帝国大学医学部
14	1941(昭 16)	地方談話会大会	(6 会場)(総会予定地は仙台)
15	1942(昭 17)	10 月 27～28 日	東北帝国大学農学研究所
16	1943(昭 18)	10 月 20～21 日	京都帝国大学・楽友会館
17	1944(昭 19)	地方談話会大会	(7 会場)(総会予定地は名古屋)
18	1946(昭 21)	11 月 18～19 日	静岡高等学校
19	1947(昭 22)	10 月 21～22 日	松本高等学校
20	1948(昭 23)	10 月 23～24 日	高野山
21	1949(昭 24)	10 月 20～22 日	名古屋大学理学部
22	1950(昭 25)	10 月 14～16 日	東京大学医学部
23	1951(昭 26)	10 月 11～12 日	広島大学教養部
24	1952(昭 27)	10 月 8～10 日	新潟大学医学部
25	1953(昭 28)	11 月 7～ 8 日	国立遺伝学研究所
26	1954(昭 29)	10 月 28～30 日	京都大学医学部
27	1955(昭 30)	10 月 16～18 日	岡山大学
28	1956(昭 31)	10 月 6～ 8 日	富山市公会堂
29	1957(昭 32)	9 月 3～ 5 日	北海道大学農学部
30	1958(昭 33)	10 月 16～19 日	名古屋大学医学部
31	1959(昭 34)	11 月 4～ 7 日	大阪大学医学部
32	1960(昭 35)	10 月 30 日～11 月 1 日	九州大学工学部
33	1961(昭 36)	9 月 1～ 3 日	東北大学川内分校
34	1962(昭 37)	10 月 17～18 日	日本大学文理学部三島校舎
35	1963(昭 38)	10 月 8～10 日	東京大学教養学部
36	1964(昭 39)	10 月 18～20 日	愛媛大学
37	1965(昭 40)	10 月 18～20 日	京都大学医学部・楽友会館
38	1966(昭 41)	8 月 10～12 日	北海道大学教養部
39	1967(昭 42)	10 月 9～11 日	神戸大学教養部

回	年	月 日	会 場
40	1968(昭 43)	10 月 7～ 9 日	広島大学
41	1969(昭 44)	10 月 10～12 日	金沢大学工学部
42	1970(昭 45)	10 月 5～ 7 日	東京女子大学短期大学部
43	1971(昭 46)	10 月 20～22 日	九州大学理学部・農学部
44	1972(昭 47)	10 月 7～ 9 日	岡山大学理学部・法文学部
45	1973(昭 48)	10 月 14～16 日	名古屋大学農学部
46	1974(昭 49)	9 月 10～12 日	福祉会館(仙台)
47	1975(昭 50)	10 月 3～ 5 日	日本大学三島校舎
48	1976(昭 51)	10 月 28～30 日	日本生命中之島研究所(大阪)
49	1977(昭 52)	9 月 28～30 日	北海道経済センター(札幌)
50	1978(昭 53)	10 月 8～10 日	東京農業大学
51	1979(昭 54)	10 月 11～13 日	京都大学農学部
52	1980(昭 55)	10 月 6～ 8 日	富山大学教養部
53	1981(昭 56)	10 月 12～14 日	広島大学総合科学部
54	1982(昭 57)	11 月 19～21 日	九州大学医学部
55	1983(昭 58)	10 月 8～10 日	東北大学教養部
56	1984(昭 59)	11 月 23～25 日	日本大学国際関係学部
57	1985(昭 60)	10 月 13～15 日	神戸大学農学部・理学部・自然科学系
58	1986(昭 61)	12 月 4～ 7 日	名古屋観光ホテル
59	1987(昭 62)	10 月 29～30 日	筑波大学生物科学系
60	1988(昭 63)	10 月 8～10 日	京都大学農学部
61	1989(平元)	10 月 13～15 日	北海道大学学術交流会館
62	1990(平 2)	10 月 4～ 6 日	お茶の水女子大学
63	1991(平 3)	10 月 16～18 日	九州大学箱崎キャンパス
64	1992(平 4)	10 月 22～24 日	仙台国際センター
65	1993(平 5)	9 月 17～19 日	日本大学国際関係学部
66	1994(平 6)	10 月 8～10 日	大阪大学医学部講義棟
67	1995(平 7)	10 月 12～14 日	岡山大学一般教育講義
68	1996(平 8)	10 月 3～ 5 日	名古屋・椋山女学園大学
69	1997(平 9)	11 月 1～ 3 日	横浜市立大学瀬戸キャンパス
70	1998(平 10)	9 月 23～25 日	北海道大学学術交流会館
71	1999(平 11)	9 月 24～26 日	広島大学理学部・法学部・経済学部
72	2000(平 12)	11 月 3～ 5 日	京都大学農学部・京都会館会議場
73	2001(平 13)	9 月 22～24 日	お茶の水女子大学
74	2002(平 14)	10 月 1～ 3 日	九州大学箱崎キャンパス
75	2003(平 15)	9 月 24～26 日	東北大学川内キャンパス
76	2004(平 16)	9 月 27～29 日	大阪大学コンベンションホール
77	2005(平 17)	9 月 27～29 日	国立オリンピック記念青少年総合センター
78	2006(平 18)	9 月 25～27 日	つくば国際会議場
79	2007(平 19)	9 月 19～21 日	岡山大学創立 50 周年記念館(津島キャンパス)
80	2008(平 20)	9 月 3～5 日	名古屋大学工学部 IB 電子情報館
81	2009(平 21)	9 月 16～18 日	信州大学理学部
82	2010(平 22)	9 月 20～22 日	北海道大学高等教育機能開発総合センター
83	2011(平 23)	9 月 20～22 日	京都大学農学研究科
84	2012(平 24)	9 月 24～26 日	九州大学医学部百年講堂・同窓会館
85	2013(平 25)	9 月 19～21 日	慶應義塾大学日吉キャンパス

回	年	月 日	会 場
86	2014(平 26)	9 月 17～19 日	長浜バイオ大学
87	2015(平 27)	9 月 24～26 日	東北大学川内北キャンパス
88	2016(平 28)	9 月 7～9 日	日本大学国際関係学部三島駅北口校舎
89	2017(平 29)	9 月 13～15 日	岡山大学一般教育棟および創立五十周年記念館
90	2018(平 30)	9 月 19～21 日	奈良先端科学技術大学院大学
91	2019(令 元)	9 月 11～13 日	福井大学文京キャンパス
92	2020(令 2)	中止(注 1)	くまもと県民交流館パレア
93	2021(令 3)	9 月 8～10 日	学習院大学
94	2022(令 4)	9 月 14～16 日	北海道大学工学部
95	2023(令 5)	9 月 6～8 日	くまもと県民交流館パレア
96	2024(令 6)	9 月 4～6 日	高知工科大学永国寺キャンパス

(注 1：現地開催は新型コロナウイルスの感染防止のため中止。公開市民講座のみ別日(2021 年 3 月 6 日)に開催。プログラム・予稿集の発行をもって発表に代える)

(公財)遺伝学普及会所属日本遺伝学会運営規則

公益財団法人遺伝学普及会(以下財団という)定款第 38 条、及び公益財団法人遺伝学普及会所属研究団体等に関する規程に基づき、当財団に所属することが認められた日本遺伝学会の運営については以下の通りとする。

第 1 条 所属団体としての名称は日本遺伝学会(以下本会という)と称する。

第 2 条 本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及を計ることを目的とする。

第 3 条 本会に入会しようとするものは学会ホームページから財団事務局に申し込む。

第 4 条 本会会員は普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員、教育会員、機関会員、賛助会員および名誉会員とする。ただし、年会費滞納が当該年度を超えて 1 年以上におよぶものは会員資格を停止する。

1) 普通会员は年会費 10、000 円を納める。

2) シニア普通会员は、定年退職して常勤職でないことを申し出た者とする。以降の年会費 6、000 円を納める。会長および評議委員の被選挙権は有しない。

3) シニア永年会員は、当学会に 5 年以上在籍する 65 歳以上の普通会员もしくはシニア普通会员が、初回のみ 30、000 円の永年会費を納入して資格変更でき、以降の会費および大会参加費の納入は免除される。会長および評議委員の被選挙権は有しない。

4) 学生会員は、在学証明書またはそれに代わるものを提出することで、初年度の年会費を免除し、2 年目以降は 3、000 円を納める。

5) 教育会員は、小・中・高等学校等の教育機関の教員を対象とし、年会費 2、000 円を前納する。会長および評議委員の被選挙権は有しない。

6) 機関会員は 15、000 円を、賛助会員は 1 口(20、000 円)以上を納める。

7) 普通会员、シニア普通会员、学生会員および教育会員が休職および海外留学をする期間の休会を申し出たときは、その期間中の年会費を免除する。

第 5 条 本会は次の者を財団理事会の決議により名誉会員の称号、あるいは特別功労賞を授与することができる。

本会に功労のあった者。外国の卓越した遺伝学者。

第 6 条 本会は Genes & Genetic Systems を発行する。

- 第7条 本会は毎年1回大会を開く。大会は総会と研究発表とに分け、総会では会務の報告、規則の改正、運営委員候補者の選挙および他の議事を行い、研究発表は普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員、教育会員および名誉会員がする。
大会に関する世話は大会委員若干名によって行い、大会委員長は財団理事会の承認を得て会長が委嘱する。大会は臨時に開くことがある。
- 第8条 本会は各地に談話会をおくことができる。
- 第9条 本会を運営するため運営委員として会長1名、幹事若干名、会計監査2名の役員、および評議委員若干名をおく。以下の手順で選出された運営委員候補者および評議委員候補者は全て財団理事会の承認を得るものとする。
- 1) 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
 - 2) 会長は、評議委員が普通会员および学生会員の中から選出した複数の候補者から、普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員による直接選挙によって選出される。
 - 3) 評議委員は、普通会员および学生会員の中から、普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員による直接選挙で選出される。
 - 4) 幹事は、会長が推薦する候補会員を評議委員の過半数が承認することにより選任される。
 - 5) 会計監査は、会長が推薦する候補会員を評議委員の過半数が承認することにより選任される。
 - 6) 会長は評議委員会を招集し、その議長を務める。幹事は評議委員会に出席するものとする。
 - 7) 評議委員会は会員を代表して、本会の事業計画、経費の収支、予算・決算、学会誌の発行、大会の開催、その他重要事項について審議し、出席評議委員の過半数をもって草案を議決する。決議された事項は財団理事会の承認を得るものとする。評議委員会は全評議委員の3分の2以上の出席をもって成立とする。やむおえない事情の場合、委任状の提出あるいはオンライン参加も参加とみなすことができる。
 - 8) 会長ならびに幹事により幹事会を構成し、会長がこれを代表する。
 - 9) 幹事会は、本会の関連事項を論議し評議委員会に諮ると共に、会務を執行する。
 - 10) 会計監査は、本会の会計を監査する。
- 第10条 運営委員および評議委員の任期は2カ年とする。会長および評議委員は連続三選はできない。
- 第11条 本会の事務年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 付則 この規程は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に定める公益法人の変更認定申請に基づいて、定款の変更が成された日から施行する。
- 付則 平成29年9月12日に第6条を改正し、平成30年4月1日から施行する。
- 付則 平成31年3月8日に第11条を改正し、平成31年4月1日から施行する。
- 付則 令和1年9月12日に第1条、第5条、第6条、第7条、第8条、第9条を改正し、令和1年9月13日から施行する。
- 付則 令和2年9月18日に第9条を改正し、令和2年9月19日から施行する。
- 付則 令和4年3月31日に第3条、第6条を改正し、令和4年4月1日から施行する。
- 付則 令和6年9月6日に第6条、第7条を改正し、令和6年9月7日から施行する。

日本遺伝学会第97回大会総会資料

発行日 2025年9月12日

発行者 公益財団法人 遺伝学普及会 日本遺伝学会

〒411-8540 静岡県三島市谷田 1111 国立遺伝学研究所内

TEL/FAX 055-981-6736